

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 707 号	氏名	朝井 政治
学位審査委員	主 査	本田 純久	
	副 査	河野 茂	
	副 査	澤井 照光	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、松浦市住民のうち、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 対策事業での介入が可能であった本土地区住民と、地理的問題で介入に制限があった島嶼地区住民の間で COPD に対する認知度を比較し、COPD 対策事業の有用性を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 松浦市の 40 歳から 74 歳までの住民を対象に、郵送法による自記式質問紙調査を行い、1,406 人から回答が得られた。本土地区住民と島嶼地区住民の間で COPD の認知度および COPD に関する知識の理解度を、統計的方法により比較したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、島嶼地区住民に比べ本土地区住民の COPD の認知度が統計的に有意に高かった。また COPD に関する知識の理解度は本土地区住民、島嶼地区住民の両群とも 80% 以上と高く、COPD が正しく理解されていることが明らかとなった。これらの結果は住民に対する COPD 対策事業の有用性を示唆しており、今後の効果的な COPD 対策に関する研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は呼吸リハビリテーション学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			